

産学協力研究委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第 189 委員会」
平成 28 年度 第 4 回定例会 議事抄録

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）14:00-18:00

場所：石原産業㈱ 本社ビル 5F ホール

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-3-15

出席者：長田裕之（理化学研究所）、穴澤秀治（バイオインダストリー協会）、浅見忠男（東京大学）、阿部圭一（サントリーグローバルイノベーションセンター㈱）、上村大輔（神奈川大学）、遠藤正志（㈱LSI メディエンス）、掛谷秀昭（京都大学）、永野栄喜（住友化学㈱）、町谷幸三（日本農薬㈱）、横田博之（アステラス製薬㈱）、吉田 稔（理化学研究所）、上杉志成（京都大学）、河岸洋和（静岡大学）、櫻井香里（東京農工大学）、代理・加藤克也（クミアイ化学工業㈱）、新家一男（産業技術総合研究所）、菅 裕明（東京大学）、鈴木賢司（大鵬薬品工業㈱）、副島義臣（ロート製薬㈱）、代理・丸山 透（小野薬品工業㈱）、藤本ゆかり（慶應義塾大学）、宮本秀俊（JSR ライフサイエンス㈱）、由井 慶（ファンケル㈱）、吉田潔充（石原産業㈱）、ロドニー・スティーブンス（大正製薬㈱）

事務局：大高潤之介（理化学研究所）、山口直美（理化学研究所）

（学界委員 14 名 産学界委員 13 名）

【議事】

1. 前回 第 3 回（平成 28 年 12 月 7 日）議事抄録【資料 1】の確認。

2. 各種委員会報告

・編集委員会【資料 2】

長田委員長より特別事業（知識や技術の伝承等とりまとめ）「ケミカルバイオロジーの発展に貢献してきた化合物」に関する編集会議の報告がされた。

Springer Nature 出版の“Bioprobes: Biochemical Tools for Investigating Cell Function”を参考にして、刊行物（書籍）を作成することが報告された。

学界委員は 1～5 頁を必ず執筆することとし、産学界委員は希望者のみとすることとした。外部執筆者として、下記先生方にもご参加いただくことが報告された。

京都工芸繊維大学応用生物学系 教授 片岡孝夫先生

筑波大学生命環境科学研究科生命機能科学専攻 准教授 白井健郎先生

理化学研究所 環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット

ユニットリーダー 越野広雪先生

3 月中にタイトルと章立てを確認する執筆依頼状を発送予定であることが報告され、年間スケジュールは下記とすることが報告された。

2017 年 3 月、4 月上旬 執筆依頼

2017 年夏頃 原稿提出〆切

2017 年 12 月頃 編集作業終了

2018 年 1 月頃 校正依頼

2018 年 3 月頃 全体原稿チェック

2019 年度 印刷・製本・出版

・プログラム委員会【資料3】

来年度の研究会発表者については、過去の発表履歴を参考に作成の年間予定リストの通りとし、変更等は委員間で調整後にプログラム委員に報告してもらうこととした。代理出席・代理発表も可能とのことが報告された。

要旨提出については、当日配布は任意とし、年報報告の際には掲載できるように所属先で審議するよう決定された。(産業界においては社内稟議2カ月程度必要)

特別講演講師について、第3回定例幹事会(2016年12月7日)にて候補に挙げた日本IBM株式会社の溝上氏とすることが報告された。

- 候補1 日本IBM株式会社 ワトソン事業部ヘルスケア事業開発部長 溝上敏文氏
内容:人工知能について 東大医科研で診断に利用されているIBM WATOSON
- 候補2 三井化学株式会社 シニアリサーチフェロー 藤田照典氏
内容:触媒科学・将来の化学原料
- 候補3 科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター(CRDS)
海外動向ユニット 上席フェロー 林 幸秀氏

*平成28年度 第3回定例 委員会議事抄録より抜粋

3. 平成29年度の活動について【資料4】

学界、産業界の繁忙期を考慮の上、下記候補日で調整することが報告された。

第1回定例会(東京開催)

5月10日(第一候補)、17日(第二候補)5月2週3週で調整する。

参考情報:6月20日以降は株主総会

第2回定例会(1泊開催)

10月4日~5日(第一候補)

北里柴三郎生家(熊本)訪問、北里一郎先生にお声掛けする。

第3回定例会(東京開催・合同開催予定)

12月20日(第一候補)その前後で調整する。

ゲノムテクノロジー第164委員会(油谷委員長)に確認する。

第4回定例会(関西開催)

3月7日、14日で調整する。

4. 新規会員について【資料5】

学界員 山口 直美(理化学研究所 環境資源科学研究センター ケミカルバイオロジー研究グループ アシスタント)を事務局担当としての新規入会が異議なく決定した。

5. その他

・旅費精算について【資料6】

旅費規程及び精算必要書類について、JSPS事務局からの追加事項が報告された。

① 交通費について

【新幹線利用の場合】添付資料:必要なし

【航空機利用の場合】添付資料:(1)領収書は往復経路・片道毎金額が記載。

航空会社 HP よりプリントアウトした書式が望ましい。

(2) 搭乗証明書 半券の提出の必要はなし。

★代理店等で購入の場合は、手数料を差し引いての精算となる。

・第 189 委員会運営内規【参考資料】

庶務幹事は事務局担当の山口委員とすることが異議なく決定した。

委員名簿に写真を掲載するように提案された。

・今後の活動について

国際シンポジウム開催については、特別事業（知識や技術の伝承等とりまとめ）が終了後に、JSPS 事務局へ助成申請をすることとなった。

【研究会】 15：30-17：10 （講演 20 分+質疑 10 分）

1. 大鵬薬品工業(株) 鈴木 賢司 様 15：30-16：00

2. 慶應義塾大学 藤本 ゆかり 先生 16：05-16：35

「微生物-宿主の細胞表層分子に焦点をあてた免疫調節機能の解析とその展開」

3. ロート製薬(株) 副島 義臣 様 16：40-17：10

「シワ用化粧品素材としてのペプチド開発」

【特別講演】 17：20-18：00 （講演 30 分+質疑 10 分）

名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻 細胞間シグナル研究グループ

教授 松林 嘉克 先生

【意見交換会】 18:30-20:30

場所：関電会館 ダイニング・カフェ エルガーデン

〒530-8270 大阪市北区中之島 3-6-16 （関電ビルディング 4 階）

上記予定通り開催された。

文責：山口（事務局）